

十六銀行グループがコーディネートした「#おうちで飛騨牛」の第二弾 オール飛騨で取り組むクラウドファンディング「帰ってきた #おうちで飛騨牛」が始まりました！

株式会社十六銀行（会長兼頭取 村瀬 幸雄）、株式会社十六総合研究所（社長 秋葉 和人）は、日本を代表する和牛「飛騨牛」のブランドを支えるため、「帰ってきた #おうちで飛騨牛」 オール飛騨で取り組むクラウドファンディングをコーディネートし、7月29日（木）より開始されましたので、お知らせいたします。

記

■クラウドファンディング第二弾を開催することとなった経緯

飛騨牛は、生産者と販売店の組合、JA、自治体、岐阜県が連携して、10年以上かけてブランディングが進められ、その品質と味は日本のみならず海外でも高く評価されている銘柄です。

新型コロナウイルス感染防止の外出自粛により外食産業への流通が激減し、飛騨牛の枝肉相場が下落した2020年4月下旬、飛騨地域の飛騨牛生産者や精肉店を守るために、クラウドファンディング「#おうちで飛騨牛」を十六銀行グループがコーディネートしました。結果、1万人の方から1億円を超える大きな支援を頂き、大切に育てられた牛たちを正しい形で皆様に食べていただくことができました。ご支援をいただき大変感謝いたします。

現在は、危機的状況からは脱したものの、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などで今夏の飛騨地域の観光客回復も見通せず、飛騨牛の世界にも暗い影を落としています。

そこで、飛騨牛に携わる方々を、また全国の皆さんを飛騨牛の力で元気づけるために、クラウドファンディング第二弾として「帰ってきた #おうちで飛騨牛」をこの度開催することとなりました。

■当行グループの役割

飛騨牛の産地である岐阜県飛騨地方には、十六銀行が6つの支店を展開するほか、2017年よりシンクタンク部門を担う株式会社十六総合研究所の研究員1名が飛騨地方に常駐し、同地方の産業経済や地域課題の調査研究を行っています。また、主任研究員が「高山市経済政策アドバイザー」の委嘱を受け、地域のより良い経済循環を構築すべく、行政と民間をつなぐサポート、地域の課題解決に向けた提案を行っています。

■本プロジェクトの構成メンバー



本プロジェクトは、JA ひだが中心となり、クラウドファンディングは株式会社ヒダカラおよび飛騨信用組合がサポートします。金融機関の系列を超えて「オール飛騨」で飛騨牛のブランド維持を図る取組みとして、支援してまいります。

■クラウドファンディングの概要はこちら

⇒ 「帰ってきた #おうちで飛騨牛」 <https://camp-fire.jp/projects/view/464116>

QRコード



以上